

給振口座を「ろうきん」にすると、コンビニでの現金引出手数料が0円になります。



泉北教育

NO.2209 2021.8.30
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
Tel.0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

2021年8月26日

大阪府教育委員会
教育長 橋本 正司 様

大阪教職員組合
中央執行委員長 北川 美千代

「新型コロナ感染拡大から子どもと教職員のいのちを守る」緊急申し入れ

全国における新型コロナ感染拡大が止まりません。1日あたりの感染者は2万人を超え、東京をはじめ各都道府県での新規感染者数は過去最高を更新し続けています。東京ではすでに医療崩壊が起こっており、東京都のモニタリング会議の報告では入院率は9%まで低下しています(8月20日時点)。

そして、デルタ株の置き換えにより子どもへの感染も急増しており、厚生労働省がまとめた速報値によれば10代以下の感染者は7月20日までの1週間で3450人だったのが、8月17日までの1週間では2万2960人と6倍に増えていることが明らかになりました。また、感染経路で最も多いのは、10代以下が「同居」に次いで学校などの「施設」が多くなっています。

本年4月からの大阪での爆発的な感染拡大があり、多くの学校で陽性者が見つかり、休校を何度も繰り返す学校も出ていましたが、今度のデルタ株による感染拡大は大阪にも確実に広がりを見せ、学校現場でも第4波よりも危機的な事態が懸念されます。

2学期の始まる現状を考えると、子どもや教職員のいのちが再び脅かされようとしているこの状況で、行政としての手立てを緊急に打つ必要があると考えます。緊急に下記の点について申し入れます。

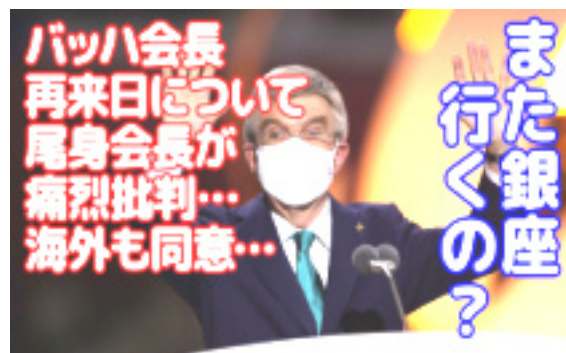
記

- 1 大阪での感染状況の動向を注視し、臨時休校や分散登校も含め検討し、行事や部活動の取扱いなど柔軟な対応を行うとともに、それが可能になるような予算確保などの措置を行うこと。ただし、行政として一方的に決めるのではなく、専門家や現場の声を聴く場を設け、子どもにとって最善な判断をすること。
- 2 小学校・中学校・高等学校・支援学校等の校内で陽性者が出た場合、検疫所の検査に漏れた者も含めて、希望者全員に対してすぐにPCR検査が受けられるよう、保健所等と連携しながら、機敏な体制を取ること。また、現場に届く検査キットについては、子どもの実態に合った検査方法や、教職員に無防備で検査をさせないなど、配慮すること。
- 3 2週間に1度など、定期的な教職員に対するPCR検査を行う体制と予算措置を直ちに行うこと。また、市町村においてワクチンの職域接種を行っていない教職員に対してワクチン接種を府として行うこと。
- 4 感染防止の具体的な手立てとして、消毒液だけにとどまらず、子どもたち一人一人に不織布のマスクを配るなど、思い切った公衆衛生の強化を、学校現場で目に見える形で行うこと。
- 5 府教委として、府立学校だけでなく、府内の小中学校での子どもと教職員の感染者数・死者数、休校の学校数の把握を行うこと。
- 6 子どものいのちを最優先に教育活動を進め、子どもに過度なストレスをかけるチャレンジテストなどを中止すること。

以上

大教組(大阪教職員組合)は、2学期の開始にあたり、大阪府教育委員会に対し、左記のような緊急申し入れを行いました。コロナ感染拡大に伴い、様々な不安や行政の対応がある中で、現時点で、教育現場に対して府教委に対応を求める事項について申し入れたものです。

菅内閣の感染防止策は、「科学的な根拠に基づかない」「正確な状況を説明しない」「国民に自己責任を押しつける」という最悪な対応になっています。また、オリンピック・パラリンピックを強行開催していることや、関係者の不要不急の来日・外出についての疑問の声に耳を傾けよ



新型コロナ感染拡大から子どもと教職員のいのちを守れ 大教組が府教委に申し入れ

うともしません。

加えて大阪では、特に、部活動や修学旅行をめぐって、知事や市長の発言で府教委の対応が変わることが目立ちます。学校現場への通知を出すことについて、知事や市長には何の権限も

ないはずであり、そのような不当な介入を許さず、教育委員会の自主性を堅持し、現場の声を聞きながら、子どもたちにとって最善の判断が現場でできるようにすべきと強く求めています。

国会答弁やインタビューでは質問にまともに答えず、官僚のメモを棒読み。大事な式典では、そのメモさえ読み飛ばす。

そんな菅首相の素顔と政権の実像に迫るドキュメンタリーが公開中です。忙しい中ですが、ぜひご覧ください。

「MOVIX堺」で上映は終了しましたが、「なんばパークスシネマ」では上映が続いています。「イオンシネマ四条畷」と「イオンシネマ和歌山」では9月10日から、「第七藝術劇場」では9月17日から上映と告知されています。

話題の映画 「パンケーキを毒見する」



子どもと学校を追い詰める「学習指導要領」は抜本的見直し。「チャレンジテスト」「すくすくテスト」は廃止。